

---

farewell

草山羊

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

farewell

### 【Nコード】

N0462F

### 【作者名】

草山羊

### 【あらすじ】

白い世界で人間は何を思うのだろう。

## (前書き)

とあるゲームに触発されて突発的に書いたものです。真似てはいないと思いますが、パクリだと思われましてら教えて下さい。

何も無い真っ白な世界の上空を一匹の漆黒の鳥が飛んでいる。

その鳥を静かに深紅のローブで全身を覆い隠している人間が見ていた。

人間は動かない。ただ、じっと鳥を見つめている。

「……………千年経った世界はどうなっているでしょう」

“千年経った世界は何も変わらない”

人間の声に応える様に何処からか声がした。人間は驚くこともなくそのまま問いかける。

「何故そう思えるのですか」

“変わるつという意志がない世界は変わらない”

「……………それが貴方の望む世界ですか」

“望む？それは違う。我は絶望したのだ、この世界に”

「絶望……」

“ そうだ。周りをよく見る。こうなった全ての原因は人間達だ。自分が可愛い人間は簡単に家族、親友、仲間を棄て、自分と違う者を差別し、簡単に罪を犯す。私利私欲の為に動物達の居場所を奪う。まるで自分達が世界の支配者だと思っている。人間とは愚かなものだ。なあ”

人間は応えない。漆黒の鳥をただただ見つめている。

“ だが、お前は特別に我と共にいることを許すぞ。お前はアイツの子孫。我とアイツの愛しい子供”

「……………」

“ アイツだけだ。我にはアイツしかいない。他の人間はいらない”

漆黒の鳥が旋回し、人間に近づいてくる。

「間違っていたのは、貴方だ」

“ん、何か言ったか”

「人間は、たしかに自分勝手に欲張りだ。でも、思いやりや助け合う心をもった人達の方が多かったことに貴方は気付けなかった」

“何を言っている。我に解る詞ことばで話せ”

「過去に囚われた貴方が、この世界を変えてしまった。希望に満ち溢れたこの世界を、憎悪という感情で変えてしまった」

“おい、聞いて…”

「さようなら。兄さん」

漆黒の鳥が白い地面に墜ちた。

地面を紅く染めながら。

人間は墜ちた鳥を見下ろす。手にはナイフをもって。

もうこの世界に支配者はいない。  
誰もいない世界は自由になった。

漆黒の鳥の傍らには深紅のローブがまるで寄り添うように落ちていた。

(後書き)

読んでいただきありがとうございます。前書きでも買いましたが、ぜひ教えて下さい。その時は削除しますので。ちなみに某BLEゲームの『花葬』P S 2版です。(隠す場所が微妙のような…)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0462f/>

---

farewell

2011年1月18日21時36分発行